

教育研究評議会議事録（第229回）

日 時：令和5年9月28日（木） 15時00分～16時47分

場 所：事務局第一会議室及びオンライン会議

出席者：小川、藤代、喜多、水野、小藤田、山本、松岡、海妻、宮川、林、横山、境野、
八代、伊藤、木村（賢）、田代、村上、南、宮本、織田、松林、清水、天木、柴垣、
小林、成田、萩原、木崎、小出

欠席者：木村（直）、澤井

配付資料

- 議題1 獣医学部設置準備教授会の設置について
- 議題2 教員の負担軽減等に係る検討事項について
- 議題3 令和4年度内部質保証体制における自己点検・評価の実施結果及び今後の自己点検・評価結果の取り扱いについて
- 議題4 岩手大学大学院連合農学研究科への福島大学の参加と定員増について
- 議題5 教育研究評議会の組織の変更等に伴う諸規則の一部改正について
- 報告1 寄附講義「いわて観光グローバル人材育成講座」の設置について
- 報告2 教員人事会議報告
- 報告3 学長・副学長会議報告（第269回～271回）
- 報告4 令和5年度入試委員会（第3回）記録
- 報告5 令和6年度入学試験実施状況【学部（編入学）】【大学院】及び令和5年度入学試験実施状況【大学院・10月入学予定分】
- 報告6 令和5年9月卒業生及び修了生について
- 報告7 うえだ交流まつり2023 IN 岩手大学【机上配布】

議事に先立ち、前回議事録について、原案のとおり議事録を確定することとした。

議 題

1．獣医学部設置準備教授会の設置について

藤代理事から、資料に基づき、令和7年4月1日の獣医学部設置に向け、獣医学部長の選出、学生の入学等の重要事項を審議するため、令和7年3月31日までの暫定措置として獣医学部設置準備教授会を設置することの提案があった。

審議の結果、原案のとおり了承した。

2．教員の負担軽減等に係る検討事項について

藤代理事から、資料に基づき、教員の負担軽減等に係る検討事項について説明があり、これまでの負担軽減策として実施してきた全学及び部局委員会の見直し等に加え、さらなる教員の負担軽減のため「令和7年度入試からの入試問題の作題体制の見直し」、「教職

課程認定における同一免許種の共通開設について」の2つを提案したいことの説明があった。入試の作題については、現状「英語」が各学部で作題する体制となっていることから、令和7年度入試の作題体制よりここを全学体制とすること、加えて、教職課程認定については令和3年度の課程認定基準の見直しに伴い、教職課程認定における教科の専門科目の共通開設基準が緩和されたことから、同一科目の課程認定を受けている学部間で共通開設の可能性について検討を進めてほしいことが述べられた。

審議において、以下の意見交換があった。

- ・作題体制において、科目によって教員の負担に差が生じている。作題委員の選出方法についても検討してほしい。

入試委員会でその点も含めて検討を行う。

- ・教職課程認定における専門科目の共通開設については、いつから始めると考えているのか。教育学部では、複数免許の取得や大学院の授業の兼ね合いもあり、時間割の調整がかなり厳しく、逆に負担増となる恐れもあり十分な検討時間が必要である。

今後、教職課程認定に必要な専任教員数が確保できない状況も考えられる。その状況になった際の対応策として検討を進めておいてほしい。

審議の結果、原案のとおり了承し、入試委員会及び各学部で検討を行うこととした。

3. 令和4年度内部質保証体制における自己点検・評価の実施結果及び今後の自己点検・評価結果の取り扱いについて

藤代理事から、資料に基づき、令和4年度内部質保証体制における自己点検・評価の実施結果及び今後の自己点検・評価結果の取り扱いについて説明があり、各部局等からの自己点検・評価の実施結果のとりまとめについての報告があった。加えて、今後は自己点検評価の体制の整備の公表だけでなく、自己点検評価結果により、どのような改善がなされたかを評価し公表することが求められることが予想されることから、令和4年度の評価結果について教育研究評議会名で総評を作成したいことの説明があり、今年度(令和4年度実績)から内部質保証体制による自己点検・評価結果について公表を行うこと、また、総評において、今後の検討事項としている点について、担当部局に検討の要請を行うことの提案があった。

審議の結果、原案のとおり了承し、今後の検討事項については、評価分析室にて各部局の担当者を集めて、対応に関する説明会を開催することとした。

4. 岩手大学大学院連合農学研究科への福島大学の参加と定員増について

木村連合農学研究科長から、資料に基づき、令和7年度から岩手大学大学院連合農学研究科へ福島大学が参加すること及び定員増について、これまでの検討状況と福島大学の参加に関する経緯、今後のスケジュール、連合農学研究科の今後の連携の見直し並びに定員増の考え方について説明があった。

審議の結果、原案のとおり了承した。

5. 教育研究評議会の組織の変更等に伴う諸規則の一部改正について

総務広報課堤主査から、資料に基づき、教育研究評議会の組織の変更等に伴う諸規則の

一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承した。

6. その他

なし

報 告

1. 寄附講義「いわて観光グローバル人材育成講座」の設置について

小藤田副学長から、資料に基づき、寄附講義「いわて観光グローバル人材育成講座」の設置について報告があった。

2. 教員人事に関する報告について

教員人事について、資料に基づき、農学部長から1件、水野理事から1件（平泉文化研究センター）及び藤代理事から1件（情報基盤センター）の報告があった。

3. 学長・副学長会議報告について

4. 入試委員会報告について

5. 入試結果の報告について

6. 令和5年9月卒業生及び修了生数について

資料のとおり。

7. その他

山本副学長から、机上配布資料に基づき、「うえだ交流まつり2023 IN 岩手大学」について報告があった。

最後に、学長から、次回の教育研究評議会を、定例の10月26日（木）の15時から開催することが述べられた。